

431 水1カップでできる「震災食レシピ」の普及活動

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
公益社団法人石川県栄養士会 【平成29年】	2220005007363	その他事業者 【サービス業（他に分類されないもの）】	石川県
<ul style="list-style-type: none"> ● 公益社団法人石川県栄養士会の「食育グループなでしこ」は、平成24年12月に震災食レシピ集「必ず役立つ震災食」を発行し、災害食のレシピの普及やその調理実習講座の開催に取り組んでいる。当初、震災食講座用資料として製本したものだったが、要望を受け、随時増刷していった。 ● 震災食の開発に当たり、豆乳を使った乾パン粥など、食材、火、水、鍋、ポリ袋さえあれば特別な調理器具を用いず調理可能な料理を重視した。また、災害時の飲料水利用は制限されることを想定し、同レシピ集に紹介されている料理に使われる飲料水は1人分につき1カップを超えないよう意識している。このため、地域で断水があった時に同レシピによる調理が活用されている。 ● レシピ集が発行された平成24年12月まで、年間の講座・調理実習件数は10~20件程度であったが、発刊後は口コミで広がり、現在では年間約100件を開催するまでに至った。福島県や長崎県など県内外からも要望があり、講演や調理実習を開催している。今後、介護食並びに震災の時にも使える介護食についても出版することを予定している。 			
			
			▲料理講座の様子